

医学(感染症)書/一般教養書
ご担当者様

〒475-0837 愛知県半田市有楽町7-148-1
TEL:0569-21-2130
Mail: book@ichiryusha.com

コロナ後の明日 - その光と影 - 前編

A5判・並製本 / 336頁 / 定価: 4290円(本体3900円+税)

吉成 河法吏 [著]



ハンガリー生れのカリコ博士は、2023年ノーベル生理学・医学賞を受賞した。その激動の歴史及びmRNAワクチンの詳細は、「評伝カタリン・カリコ」「カリコ博士の愛したmRNA」で記述した。新型コロナウイルス感染症の位置づけは、2023年5月8日、「5類感染症」となり、社会経済活動がコロナ前に戻りつつある。このパンデミックで、種々の治療薬・ワクチン、特にmRNAワクチンが開発・上市された。上市から3年も過ぎ、それらの光の部分と影の部分が臍に分かってきた。本書から、この光と影を読者諸氏が自分の中で反芻して解釈して頂いた時、今回のパンデミックの位置づけ、そして、今後のパンデミック時の道標になると思われる。

異色の天才科学者、南アフリカのデ・オリベイラ博士と米国イェール大学の岩崎明子博士らに、コロナ後の明日が託された。「新型コロナとの死闘(Part 1~Part 4)」で、100年に1度の人類の新型コロナパンデミック危機を、全方位的に捉えてきた。それらの続編の位置づけである。

《目次より》

- | | |
|----------------------------|------------------------------------|
| 第1章 はじめに | 第9章 治療薬 - その光と影 - |
| 第2章 国内外の動向 | 第10章 COVID-19 ワクチンの今後 |
| 第3章 新型コロナウイルス | 第11章 アフリカ(グローバルサウス)の受難 |
| 第4章 COVID-19 | 第12章 グローバルサウスの旗手
(南アのデ・オリベイラ博士) |
| 第5章 ロングCOVID(COVID-19 後遺症) | 第13章 ワンヘルスアプローチ |
| 第6章 ワクチン | 第14章 今後 |
| 第7章 ワクチンの効果 | 第15章 おわりに |
| 第8章 ワクチンの悪影響(負の側面) | |

本書は、新型コロナパンデミックの記録の本邦初、誰も成し得なかった集大成である。

【著者紹介】

吉成 河法吏
(よしなり かおる)

1953年福島県塙町生まれ、福島県立白河高校卒業、東京大学卒業、理学博士(東京大学、生物化学)

東京大学院時代は、細菌のウイルスであるバクテリオファージの遺伝子発現調節機構の研究、その後、学位論文は、抗体医薬に関する基礎研究。また、ウイルス安全性試験では、規制当局(米国FDA、中国、ドイツPEIなど)以外に、欧米、中米、中国、韓国、リトアニア、ロシア、エジプト、インド、キューバなど30数カ国を歴訪し、ウイルス安全性の試験・プレゼンを実施。

●著書 / 新型コロナとの死闘Part 1~4、評伝カタリン・カリコ、カリコ博士の愛したmRNA(全て、医薬経済社)

ご注文申込書	貴店名・帖合	注文数	発行: 一粒書房 TEL.0569-21-2130
			吉成 河法吏 [著] コロナ後の明日 - その光と影 - [前編] A5判・並製本 / 336頁 定価: 4290円(本体3900円+税)
		冊	ISBN978-4-86743-243-3 C0047 ¥3900E

ご注文は JRCへ → FAX.03-3294-2177 ※返品条件付き注文扱い